

応援の準備 その1

1 応援団の移送

先週の選抜機授与式以後、応援団としてバスでの応援に参加する人数把握を、現在進めています。3月3日頃には確定させ、具体的に集合場所や行程等の再確認を行い、どれくらいの規模となるかを予想し、なおかつ、バス以外での参加人数も把握したいと考えます。

アルプススタンドは、6000人ほどが入ることができ、学校関係の入場者をどれくらい見積もれるのか判断していきます。

2 応援団の編成

現役の応援団と楽団に、吹奏楽部を集合させ、練習を開始します。吹奏楽団の指揮と指導は、卒業生の青木君にお願いしました。吹奏楽部のフルート6重奏がアンサンブルコンテスト全国大会に出場が決定しましたので、その生徒たちを除いて、OBを含め、野球場用の演奏方法と演奏曲の選定等を始めています。

また、指揮リーダー部は、現役が中心になるとともに、様々な方々の応援も必要となることから、手助け等も考慮し、息の合った応援になるよう努める所存です。

3 応援グッズ

磐城高校応援のための旗印として、スタンドをブルーに染めるために、帽子やタオル、ウインドブレーカーやメガホン等も準備するつもりです。全国の同窓生たちが同じ姿になって、団結して校歌を歌うことができればと考えました。組み合わせが決まりましたら、配布方法等についてもお知らせしてまいります。

4 安積高校といわき海星高校の例

安積高校の時は、アルプスが埋まったと聞いております。いわき海星高校においても、3000人を超える応援団となって応援できたと聞いております。

25年ぶり、10回目の甲子園として、勝利の凱歌を歌うべく、それにふさわしい応援になることを心から願っております。

男女共学になって初めての甲子園です。ぜひ、全国の方々の集結と、在校生卒業生の力のこもった歌声や魂を込めた団結心を見てみたいものです。

どうぞよろしく願いいたします。